

超高級襖絵

取
外
楽
共

第二集

超高級襖絵

聚楽

第二集

古い時代からの人間生活の知恵と、芸術的探究の美しい結晶ともいふべき金銀箔による美術工芸品は、あらゆる形に於いて、世界各民族の間にいろいろな特色をもって、うけつがれて来ています。

吾が国に於いても、生活空間の装飾的目的で種々の形でつくられ、又その技術も伝承されて来たわけですが、日本家屋の最も特色のあるものの一つとして襖がありますが、世界的にも高度な生活にまで発展した現代の日本の住いにはこれ等純金銀箔による美術工芸技法により、仕上げられた襖こそ、もっともふさわしいものと言えましょう。

伝統を生かし新しいセンスを調和させて、現代日本の最高水準にある工芸技術の粋を、総合的に駆使して茲にまとめ上げました。

「聚楽」は何時までも永く皆様
の生活に、心からの御満足を
お贈り出来るものと確信致し
ております。

金箔の製造と金銀箔工芸について

人類が初期の文化をもつようになった約六千年前の昔から人々は金のもつ限りなき美しさに魅せられて重宝し今日に至ったのでありますが、金が金箔の形で日本で使われるようになったのは大化改新前の頃よりで、大陸文化の渡来と共にみられるようになり奈良朝・平安朝時代の文化の開花と共に、仏像・仏画・寺院建造物及び飾り棚や手ばこの模様に金箔が盛んに使われるようになりました。

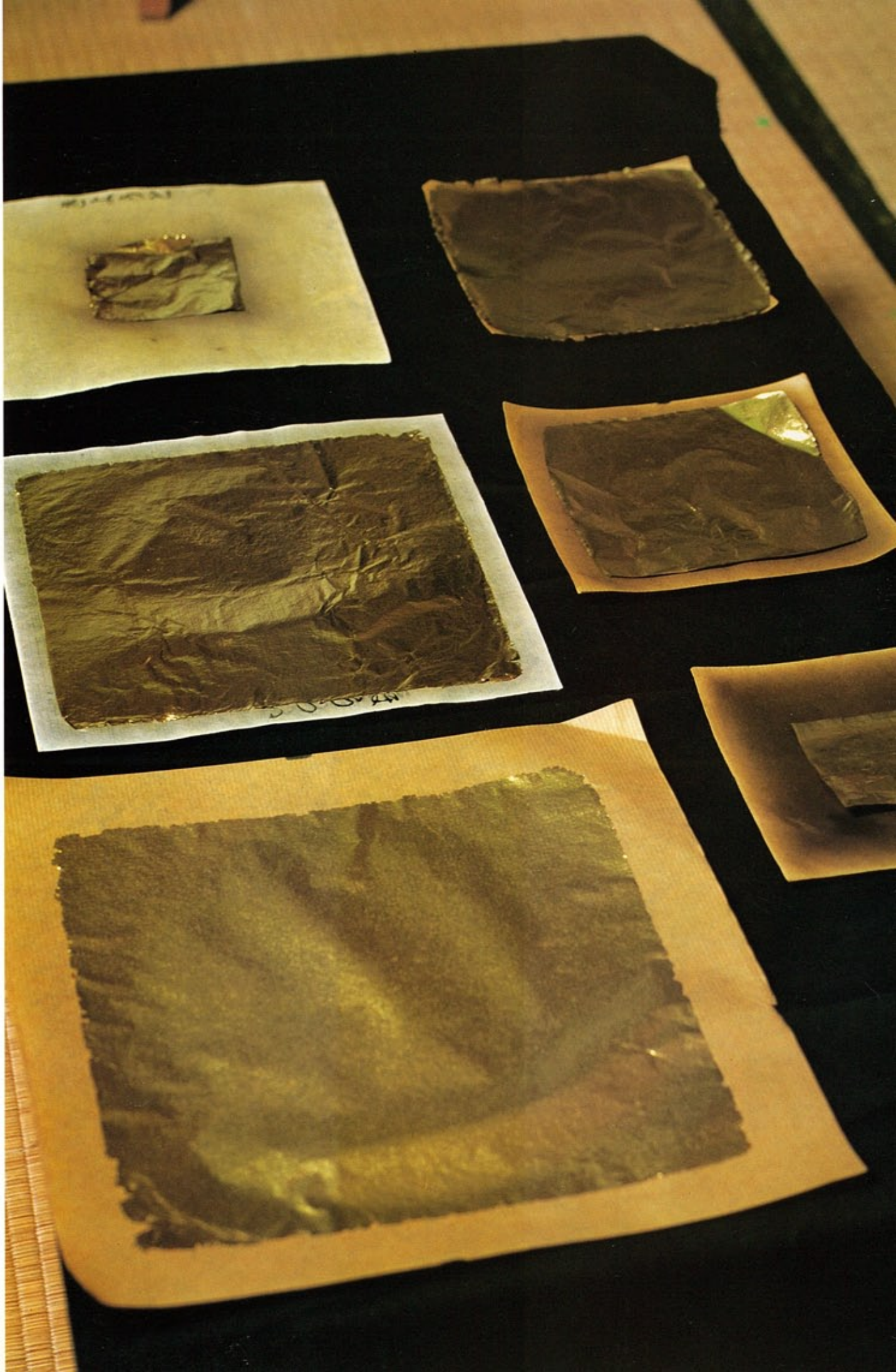
その時代に造られた素晴らしい文化財の数々が今日も数多く残されており、足利義満の金閣寺や、豊臣秀吉の桃山文化の数々等は、まさに金箔芸術の粹とも言えましょう。

金箔の製造は古くは殆んど京都・滋賀で造られていました。江戸時代に入り幕府の政策により、江戸・京都で製造されることとなり、その後徳川幕府の改策により、金沢にその主力がうつされたようであります。

それより今日迄その殆んどが金沢地区の特殊な経営形態（いわばマニュアルファクチャ）に支えられ、製造されている現状であります。

金箔の製造工程は、複雑なしかもかなり熟練した技術による手作業によらねばならず、近代化された工場生産方式による製造が難かしいが故に、今日に於いてもいわゆるマニュアルファクチャ形態の製造がそのまま続けられているわけです。そのきわめて複雑な製造工程を簡単に説明することは容易な技ではありません。

しかし、その難しい製箔工程とデリケートな金箔工芸技法の概略を茲に紹介して、その貴重な技術を認識し、又それにより生み出される金銀箔工芸品の高付価々値性を再認識して頂きこれ等の製造技術が末永く伝承され続けて、いつの世までも人々の心にうるおいと豊かさをおくりつづけることを希う次第であります。



◆金箔の製造工程

金箔の製造は素朴な手作業的な手法がもととなり長い期間うけつがれ、たくわえられた、勤と知恵によりその精巧さと質の向上がはかられてきたものです。その工程は何十工程にもなるわけですが、簡単にこれを類別すると

- ① 箔打紙の特殊加工
- ② 上澄製造うわすみ
- ③ 箔打ち
- ④ 箔うつし の四つとなります。

箔打紙

金箔は金地金を約一万分の一ミリメートルまで延圧して製り上げるのですが、その時に金地金のあいだに交互に入れる紙が「箔打紙」でこの箔打紙の特殊仕上加工の良否が仕上り箔の良否を左右する極めて重要なものです。

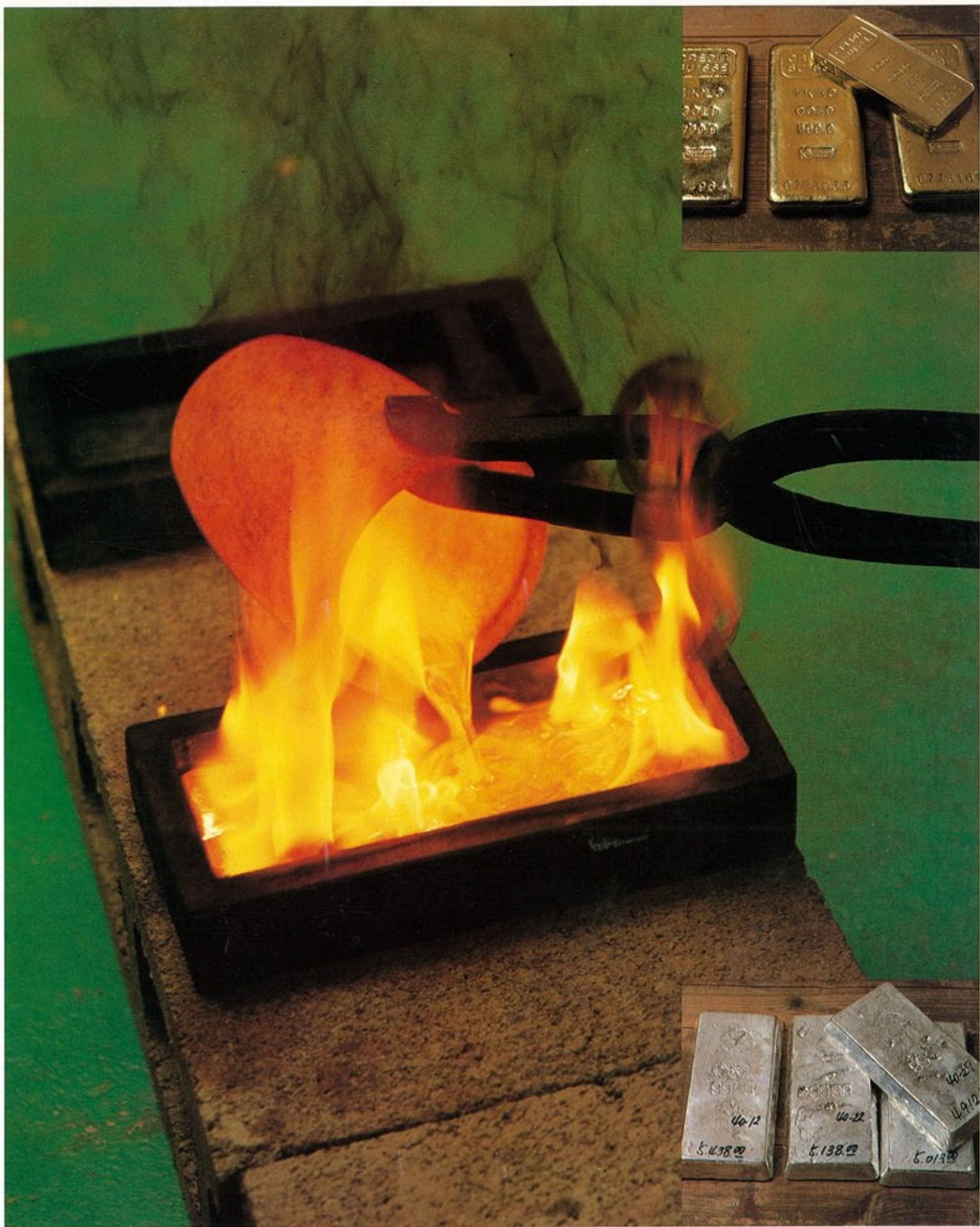
古い時代より兵庫県名塩特産の白土を良質の雁皮のせんで漉き上げた和紙が最良とされて居り、これを「下地紙」という。

この「下地紙」に灰汁を十分にひたし、更に柿渋と卵を加えてしみ込ませ、これを何枚も重ねて上から圧力をかけてしほり、乾燥させ、これを何回も繰返して行い石床の上で重ねて上から槌で打ち均一なものに仕上げて初めて「箔打紙」が仕上るのであり箔の延び具合やその肌合を左右するものです。

その灰汁工程の回数により

- ① 二回のは「小間紙」
- ② 十回〜十五のものは「おもがみ」
- ③ 十五回以上のものは「ふるや」という





◇上澄製造工程

【1】金合金地金の製造
純金(九七%)・銀(二%)・銅(二%)の割合位にまぜる。

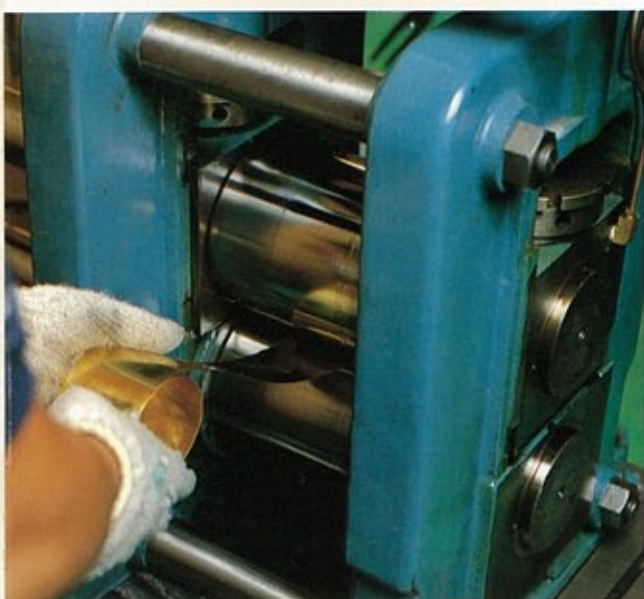
【2】これを茶碗二種のるつぼに入れて炉にかけ二三〇〇度
に熱してとかして合金をつくる。その配合の割合は七
種類位つくり箔の色合いを変えて用途に合せる。



【3】この合金を延圧機で二ミリの「延金」にする。



【4】この延金を約九〇ミリ(三寸角)の小片に切る。これを「
べ金」又は「小兵」という。



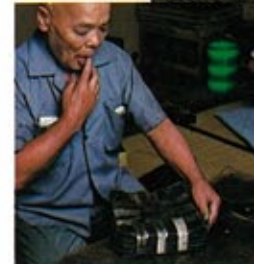


【5】この「荒金」を澄打紙にはさんで約二〇〇枚を袋皮にはさむ。

【8】この「荒金」を四分の一に切り澄打紙の「小重」に一枚毎にはさみ、先と同じ要領で圧延する。約 $\frac{3}{4}$ ミリとなる。



【6】乳革でしめて止める。



【7】これを石場にのせて楯、又はピストンで圧延する。紙一杯に延びたものを「荒金」という。この工程を二回繰返す。



【9】更に又寸法の大きい澄打紙「大重」に一枚毎にはさんで八百枚位を同じ要領で圧延する。この段階で約 $\frac{3}{10}$ ミリとなる。



【10】次に「大重」より更に寸法の大きい澄打紙「上り」に移し入れ、七五〇枚位重ねて圧延し、この段階を終ったものを「打上澄」という。



【11】次にこの「打上澄」を三十枚重ねて折り目からたち包丁で切り(A-C)三ツ折にして澄箔に入れ(これを「仕上り澄」という)て、箔屋に届け、ここで箔打工程に入るわけである。



【B】



【C】





◇ 箔の打ち上げ工程

【2】 この小間を広物帖から打紙の中心位置へ移し入れる。
(澄のひき入れという)

【1】 「仕上り澄」は約 $\frac{1}{1000}$ ミリであるが、その約「二十一センチ角」のものを十六位の小片に竹製の切箸で切る。これを「小間」という。

【3】 これを千五百枚交互に重ねて、前の要領で袋皮と乳革で
はさんでしめる。

このようにして延びた小間を「おもがみ」にうつし次の「中渡し」の工程に入り五灰汁から十灰汁までの最も働きのある箔打紙を使って圧延する。
約五百枚交互に重ねて同じ要領で何回も繰返し圧延し、次の「仕上打」の工程に入る。
この「仕上打」も前と同じ要領で何回も繰返しこの間にうづみ火の「火の間鉢」の上で箔をなまし、紙に密着したものを動き易くして箔移し、圧延を繰返し $\frac{1}{10000}$ ミリのうすい箔にするわけである。

【4】 これを石場の上で移動しながら箔打ちを繰返す。(小間打ちという) この間熱をもつので適当にひろげて熱をさま



◆ 製箔仕上げ工程

〈仕上げ移し〉

【3】左手に皮板をもち、右手の竹箸で広物帖から箔を皮板の上にうつし、静かに息を吹きかけ、皮板の上にひろげ密着させす。(A・B)



【4】ついで竹製棒の切断器を右手にもって静かに箔に押し当てて切る。切り落したくずは「切廻し」といい、砂子振りに使用する。



【5】切り終った箔は定寸に合せた「合紙」にのせる。



【6】十枚毎に「へだて」を入れて目印とし、百枚を「かけ糸」でしぼり五百枚か千枚宛の包として箔箱に入れて総仕上げとなるわけである。(A・B)



【1】箔が打ち上ると、和紙百枚をとじた広物帖に箔移しをする。

〈抜き仕事〉



【2】この時左の人指しゆびにはめた天狗爪と、右手に持った仕事箸とわずかな風によって1/1000ミリの極くうすい箔をひろげ広物帖におち付かせる。

金箔工芸の結晶

「聚楽」

さきに見て来たように、金銀箔の製造は極めて複雑な特殊工程を経て長い時間をかけてつくり上げられるものであり、それだけに貴重なものであり、高級美術工芸用に使用されるわけです。金銀箔の使い方は、

一、全面に箔押しする平押し

二、デザインを接着剤でつけてその部分にのみ箔押しする型押し

三、切り廻し箔を竹筒に入れて筒の底の網目の大小により振り分けていく砂子振り



超高級

聚楽 本鳥の子

原紙について

◇超高級襖絵「聚楽」に使用の

鳥の子原紙は、下記のように

四槽漉(四枚漉き合せ)の方法で

漉き上げた最高級原料配合の

「別漉2号越前鳥の子紙」です。

(表)

三極本晒
マニラ麻・三極
マニラ麻・パルプ
マニラ麻・三極

(裏)



◇この落款は超高級襖紙の証です。

弊社の全ての製品には(本金・本銀使用)この落款が押印してあります。

◇「聚楽」の全製品の現品原紙には全て左記の通り漉込み及び捺印文字が入っております。



じりく鳥の子漉込み文字

別漉聚楽本鳥の子紙(捺印文字)

◇「聚楽」は本金・本銀仕上げの製品ですが、親和金での製作もできます。

◇当見本帳の収録商品は全て御注文により製作いたしますので、特別寸法、又は特別な柄の別注品も謹製いたします。

◇ご注文の際は下地(骨)寸法にて御注文下さい。

◇この見本帳の収録商品は手造り一品製作の為、現品と写真が多少異なる場合がございますから御諒承下さい。

箔

最高級襖絵「聚楽」箔押

本金見本



赤玉平押 (No.94)

本金箔三枚半掛(127%)を聚楽原紙に箔押したものです。

赤玉正絹地表の箔押 (No.95)

正絹織を聚楽原紙で裏打し本金箔三枚半掛(127%)を箔押したものです。

赤玉正絹木目箔押 (No.96)

正絹織を聚楽原紙で裏打し本金箔三枚半掛(127%)を箔押しその上から、川又正絹を一枚はり合せて絹の目で木目模様を出したものです。

赤玉砂子振り (No.97)

聚楽原紙に本金砂子を振ったもので砂子振りの濃度は御要望により加減出来ます。



柄寸法110cm

NO.51

◆4枚組

聚楽

◆溪流の晨(けいりゅうのあし)



柄寸法84cm

NO.52

◆4枚組 聚楽 ◆朝あけ(あさひ)



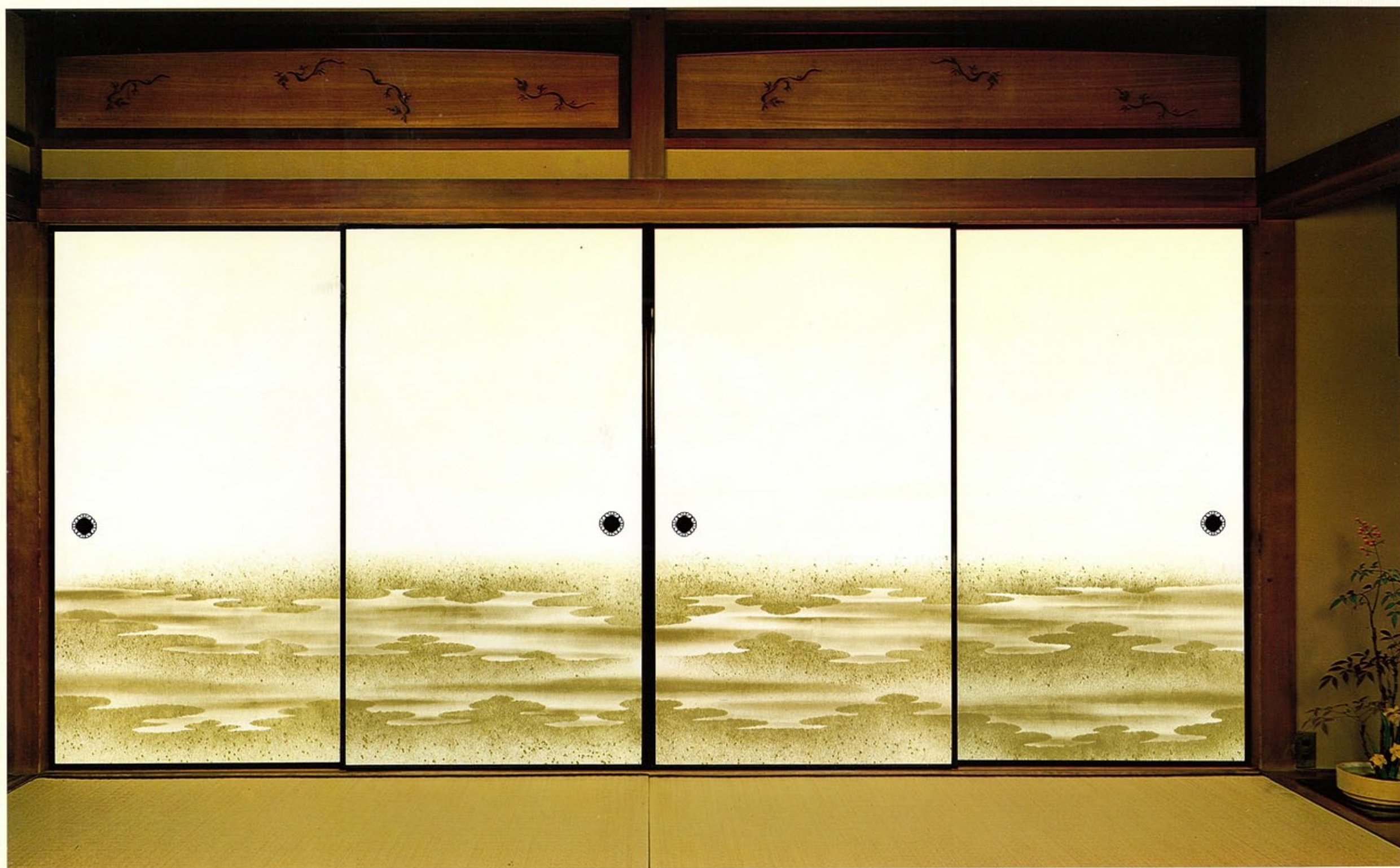
総模様

NO.53

◆4枚組

聚楽

◆松籟(しょうさい)



柄寸法70cm

NO.54

◆4枚組

聚楽

◆有職雲(ゆづりくも)



柄寸法75cm

NO.55

◆4枚組

聚楽

◆野辺の詩(のへのうた)



総模様

NO.56

◆4枚組

聚楽

◆爽風(せうふう)



柄寸法79cm

NO.57

◇4枚組

聚楽

◇朝の海 (あさのうみ)



柄寸法120cm

NO.58

◇4枚組

聚楽

◇清境(せいきょう)



総模様

No.59

◆4枚組 聚楽 ◆老松に孔雀おきなとけいこ



柄寸法77cm

No.60

◇1枚物

聚楽

◇元禄(1690)



柄寸法70cm

NO.61

◆4枚組 聚楽 ◆静寂 (せいきよ)



柄寸法121cm

NO.62

◆4枚組 聚楽 ◆轟(とどろき)



柄寸法56cm

NO.63

◆4枚組

聚楽

◆鮮麗(せんにい)



柄寸法91cm

NO.64

◆4枚組 聚楽 ◆雲の峰(6のみね)



柄寸法53cm

NO.65

◆4枚組 聚楽 ◆春の訪れ(はるのきたり)



柄寸法127cm

NO.66

◇4枚組

聚楽

◇花苑(ゆえん)



総模様

NO.67

◆4枚組

聚楽

◆蓬萊峽 (ほうらいきょう)



柄寸法70cm

NO.68

◆4枚組

聚楽

◆曙雲(しやううん)



柄寸法・帯巾33cm・帯下21cm

NO.69

◇2枚組

聚楽

◇優艶(ゆえん)



総模様

NO.70

◆4枚組

聚楽

◆老松(かしわ)



総模様

NO.71

◆4枚組

聚楽

◆総雲砂子(すうぐもすなご)



柄寸法97cm

NO.72

◆4枚組 聚楽 ◆瀬戸の海(せとのうみ)



柄寸法62cm

NO.73

◆4枚組 聚楽 ◆銀にしみ丁字(銀にしみ)



柄寸法75cm

NO.74

◆4枚組 聚楽 ◆金泥引霞 (きんじいびりかすみ)



総模様

NO.75

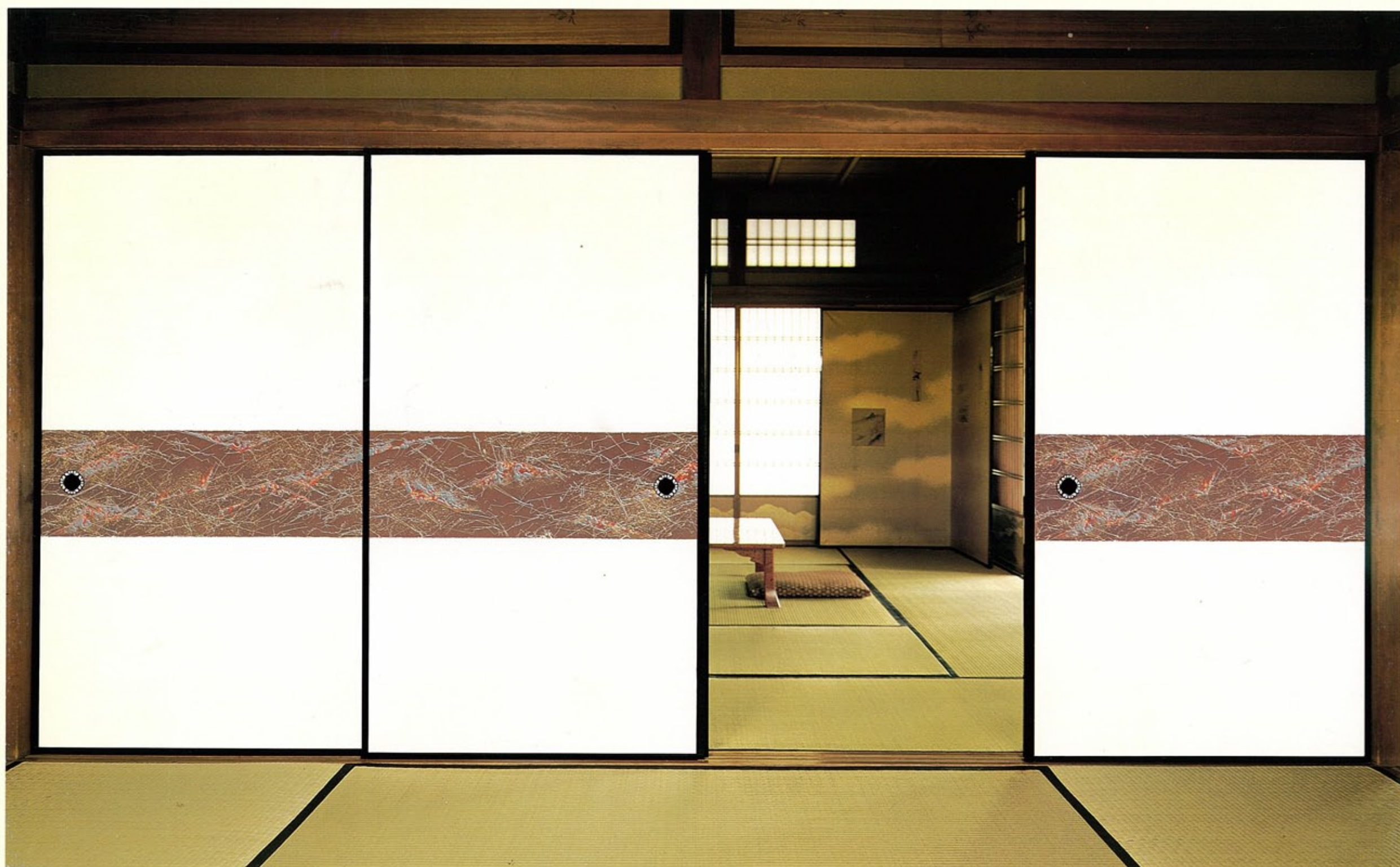
◆4枚組 聚楽 ◆麗峰雲海 (れいほううんかい)



柄寸法73cm

NO.76

◆2枚組 聚楽 ◆金波銀波 (巻人は巻人紙)



柄寸法・帯巾30cm・帯下63cm

NO.77

◇2枚組

聚楽

◇錦帯(あんなたい)



総模様

NO.78

◆4枚組 聚楽 ◆竹林の春(ちくりんのはる)



総模様

NO.79

◆4枚組

聚楽

◆金銀泥引総霞(BARASUION
SHIMIZU)



柄寸法125cm

NO.80

◆4枚組 聚楽 ◆海浜の曙(かしの人のあけぼの)



柄寸法・帯巾33cm・帯下21cm

NO.81

◆4枚組

聚楽

◆襖部しつこ



柄寸法136cm

NO.82

◆4枚組 聚楽 ◆雲海連峰 (うんかいれんぷう)



柄寸法86cm

NO.83

◆4枚組 聚楽 ◆銀泥引霞 (ぎんでいひりかすみ)



柄寸法76cm

NO.84

◆4枚組 聚楽 ◆波濤(はたう)



柄寸法67cm・半腰模様

NO.85

◇2枚組

聚楽

◇暁の連峰(あかつきのれんぽう)



柄寸法85cm・半腰模様

NO.86

◆4枚組

聚楽

◆木立の朝霧(むつたてのあさぎり)



総模様

NO.87

◇4枚組

聚楽

◇望海(ぼうかい)



柄寸法67cm・腰模様

NO.88

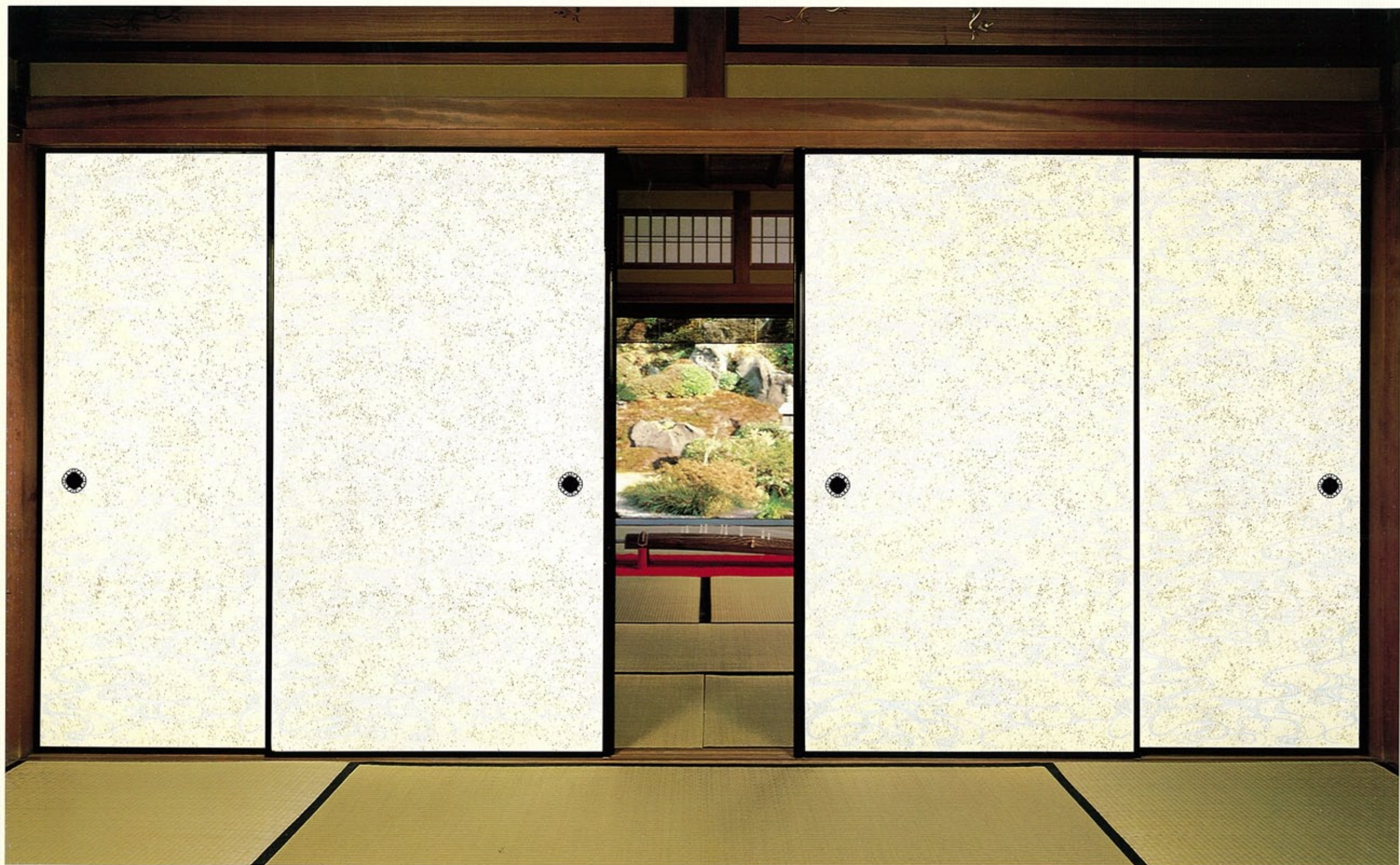
◆2枚組 聚楽 ◆露草(つむぎ)



総模様

No.89

◆4枚組 聚楽 ◆雲霞(くもすみ)



総模様

NO.90

◆1枚物 聚楽 ◆木版刷親世水(5025/1)
(5025/2)



柄寸法85cm・腰模様

NO.91

◆4枚組

聚楽

◆金泥手描き連峰(金泥手描き)



柄寸法88cm・腰模様

NO.92

◇1枚物 聚楽 ◇金の彩(きんのあや)



柄寸法73cm・腰模様

NO.93

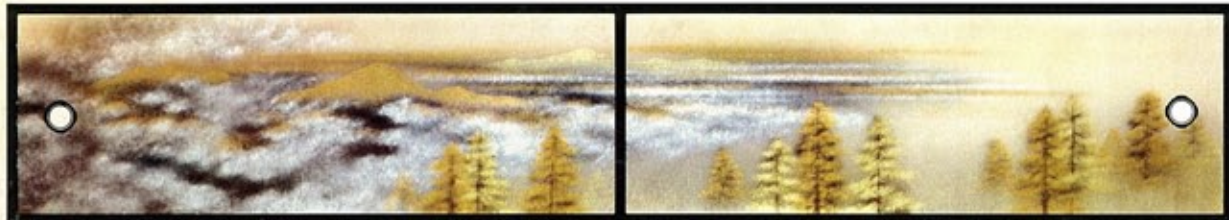
◆4枚組 聚楽 ◆松の栄(まつのかえ)

聚楽

天袋・地袋

No.101

天袋サイズ 30cm(1尺)×180cm(6尺)



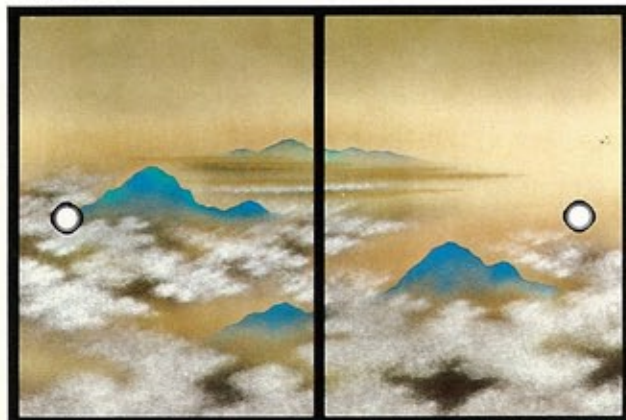
No.102

地袋サイズ 60cm(2尺)×180cm(6尺)



No.103

地袋サイズ 60cm(2尺)×90cm(3尺)



超高級襖絵

聚楽

第二集

超高級襖絵「聚楽」第二集
純金銀箔による最高級の美術工芸技法が
生れる天袋・地袋をここに紹介申し
上げます。
合わせて御利用下さいませ。

聚楽

天袋・地袋

No.107

天袋サイズ 30cm(1尺)×180cm(6尺)



No.104

天袋サイズ 30cm(1尺)×180cm(6尺)



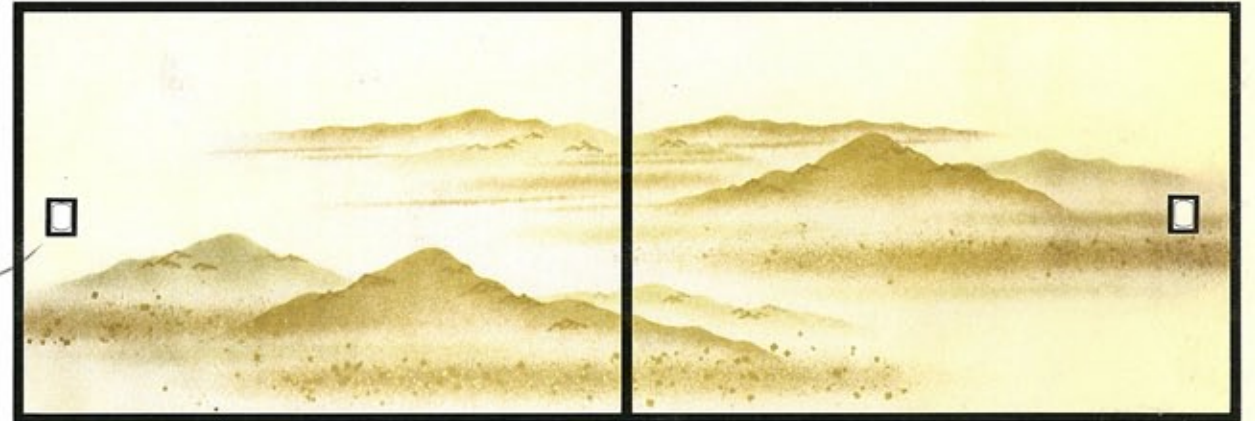
No.108

地袋サイズ 60cm(2尺)×180cm(6尺)



No.105

地袋サイズ 60cm(2尺)×180cm(6尺)



No.109

地袋サイズ 60cm(2尺)×90cm(3尺)



No.106

地袋サイズ 60cm(2尺)×90cm(3尺)



聚楽

天袋◦地袋

No.113

天袋サイズ 30cm(1尺)×180cm(6尺)



No.110

天袋サイズ 30cm(1尺)×180cm(6尺)



No.114

地袋サイズ 60cm(2尺)×180cm(6尺)



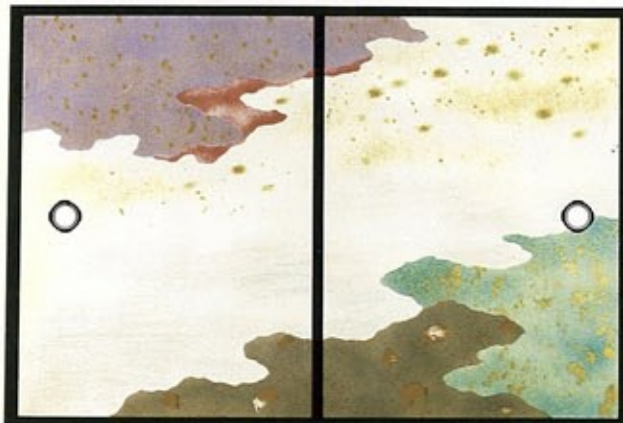
No.111

地袋サイズ 60cm(2尺)×180cm(6尺)



No.115

地袋サイズ 60cm(2尺)×90cm(3尺)



No.112

地袋サイズ 60cm(2尺)×90cm(3尺)



聚楽

天袋◊地袋

No.113

天袋サイズ 30cm(1尺)×180cm(6尺)



No.110

天袋サイズ 30cm(1尺)×180cm(6尺)



No.114

地袋サイズ 60cm(2尺)×180cm(6尺)



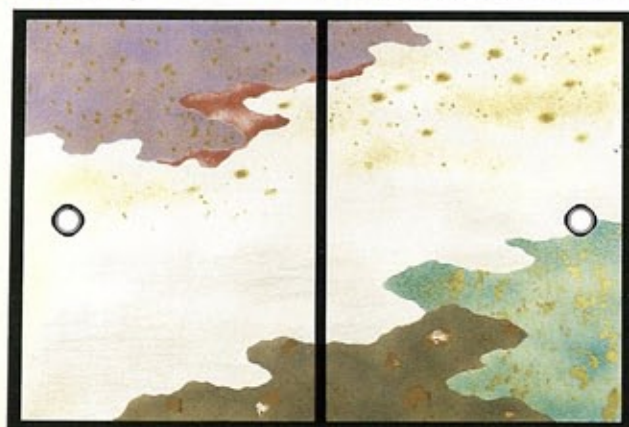
No.111

地袋サイズ 60cm(2尺)×180cm(6尺)



No.115

地袋サイズ 60cm(2尺)×90cm(3尺)



No.112

地袋サイズ 60cm(2尺)×90cm(3尺)

